

## 詩吟の文化を後の世代に残してゆくのが 私達の使命 !!

吟と舞 ムック版6号が4月に販売されています。平成30年度全国名流吟剣詩舞道大会の見どころを特集しております。舵社が発行元で1296円です。三河での開催ですから、構成吟は徳川家康をテーマに「厭離穢土・欣求浄土」と題しています。群舞コンクールで中部地区の会が上位に入って居りその強さを芸どころ名古屋に在りと特集。この本に書かれた言葉を拾ってみますと〇心にしみる吟詠・勇壮清廉な剣舞の美しさ・艶やかな詩舞〇美しき和の絆〇集団とは、未来を表現する表現芸術形式だ。哲学者(ヴェイグ・ニードルマン)〇一人には一人の魅力あり、数人集まることで迫力ある表現が出来る。

4月の入会者はありませんでした。(今年度こそは会員数の挽回をお願いします。)

ここ数年の間に多くの若い人に入会して頂き、詩吟という素晴らしい文化を引き継いで頂かないといけません、0歳から100歳まで楽しめるのが詩吟です、幼少年が一生の無形の財産として持ち続けられるのが詩吟より得る発声であり・知恵であり・物を見る心です。きっといろいろな処で役立つものと思っています。(このような気持ちで働きかけをお願い致します) 詩吟の良さをみんなに知って頂きましょう!!。



短歌一題 酔いどれ  
 刻々と きざむ時間の そのように  
 ながるる大河 海のはざまよ  
 (ひとりごと)  
 今回、初めて関門海峡を訪れ、まるで大河のような印象を持ちました。景色とは関係ありませんが、昼に食べた「瓦そば」と地酒が誠に美味でした。

◆鷺長会開催 H30年 ☆講師会 5/26(土)14~16 アイティ ☆鷺長会名古屋吟行 5/27(日)

☆和支部 6/10 表鷺津多目的ホール ☆指導者講習会 6/23(土) 13~16 アイティ

☆浜吟連練習 (未定) (日) アイティ ☆秋季練成会 9/23 (日) 新居地域センター

◇各会今後の予定 H30年 ☆吟詠コンクール県大会 5/20(日) 静岡市清水ふれあいホール

☆白鷺連合会総会 5/12 (土) ☆総本部総会 6/2(土) 大阪

☆東海地方昇格試験 6/17(日) 賀城園 (昇格試験終了後東海地区常任理事会を開催)

☆ポリトール吟詠会中部地区予選 7/1(日) 9~17 コンクールと研修会 浜松地域情報センター

☆吟詠コンクール中部地区大会 7/16 (月・祝) 岡崎せきれいホール

☆浜吟連吟詠大会 7/22 (日) Uホール ☆浜松市民吟詠会 8/5 (日) 曳馬協働センター

☆吟士権東海地区予選 8/5 (日) 名古屋市北文化小劇場

☆翔鴻流静陵吟詠会 45周年記念大会 8/19 (日) 新居地域センター

☆浜松市民フェスティバル 10/21 (日) Uホール

☆白鷺吟詠の集い（結果報告）4/8(日)高槻現代劇場

合吟、(4位入賞) 菅沼初代、條 万起子、鈴木利子  
 鈴木通予、鈴木育代、金井富喜江、森下ふで子、  
 坂下公枝、紀野実知子、水上節子、太田雅代、  
 辻多喜子、 出吟者 12名  
 新人の部 **準優勝** 菅沼裕行  
 二段の部 入賞 太田雅代  
 上級の部 入賞 辻多喜子  
 壮年二部 入賞 杉本嗣夫、  
 和歌の部 **準優勝** 森下ふで子



コサギ

澤木洋伸

浜松吟詠連合会第 51 回大会出場者 平成 30 年 7 月 22 日 (日) am 11 時～pm 5 時

参加者 と吟題 浜松勤労会館 Uホール  
 一般吟 女性「白帝城」李白 飯田報彩他 30名 かがやき 7本  
 男性「静夜思」李白 飯田報信他 30名 かがやき 3本  
 一般競吟 牧田章悟 「海南行」細川頼之 3本 夏目収啓 「海南行」細川頼之 4本  
 合吟競吟 和支部女子 「舟中子規を聞く」 8本  
 寿吟詠 「春簾雨窓」菅沼うめ 野澤幸子 2名 5本 かがやき 5番  
 練習 ☆浜吟連練習日 6月・7月 a9～12 アイティ (決定次第連絡します)

平成 30 年度 関西吟詩文化協会 期首会員数  
 総本部会員数 11, 543名  
 (昨年より 765名 減 △6. 2%)  
 200名以上 ゴールド公認会 12会  
 100～199名 公認会 26会  
 浜松鷺長会は 公認会 No. 2 で 全体では  
 14 番目になります。ご協力ありがとうございます。  
 (来年は 1人でも増加に努めたい！)

鷺長会会員構成 21名減少  
 総人数 188名 (幼少年除く 179名)  
 宗範 2 総師範 15 高師範 9  
 上師範 11 師範 19 準師範 18  
 師範代 17 (以上合計 91名)  
 81才以上 40名 71～80 87名  
 61～70 40名 31～60 11名  
 30歳以下 10名

名古屋吟行 の見どころ 5/27 (日) (多くの参加者を募ります)

吟行会今年も近くても意外と行ってない名古屋を訪れる事としました。  
 最初に行くのがトヨタ産業技術記念館、湖西市の豊田佐吉記念館は皆さん出かけておると  
 思いますが湖西市の生んだ偉人の、自動織機はじめ幾多の繊維機械、子弟に掛けた自動車  
 産業の発展がレンガ建ての記念館に収められております。是非一度は行きたい所です。  
 自動車の好きな方はトヨタ鞍ヶ池記念館で世界の名車に出合う吟行を計画したいものです。  
 名古屋名物の昼食をした後、徳川美術館へ行き徳川家が残した美術品を見学、合わせて  
 徳川園の公園を歩いてみたいですね。名古屋城は天守閣が調査の為入れないかもしれませ  
 ン、現在建築中の本丸御殿は全面オープンが6月8日前ですが1期、2期工事の部分が  
 見学できます。現代の技術と 伝統の城郭建築の融合したすごい建築が見られるではない  
 でしょうか？ 新しくオープンした金シャチ横丁によって土産物を仕入れて。旅の終りは  
 大須観音をお参りして健康を祈り、大須商店街、土産物の有名店が並んでいます。買い物散策！



浜松フラワーパーク乗り物もある



年間パスポート 1500円 70歳以上



歩き園内一周すると健康に良い

☆ ポリドール吟詠会 競吟大会の予選開催予定 7/1(日) 浜松地域情報センター  
 多くの競吟参加者と研修会聴講の方を募っております。他のコンクールに比べ講習が皆さんに  
 役立つことが多いと思いますので多数の参加をお願い致します。



會員漢詩五月

元韻 嶋野美佐子

綠陰庭樹 啓蓬門  
久潤交情 笑語温  
啜茗吟詩 酬唱樂  
同心蘭契 絕塵喧

庭樹 蓬門を啓く  
庭樹 蓬門を啓く

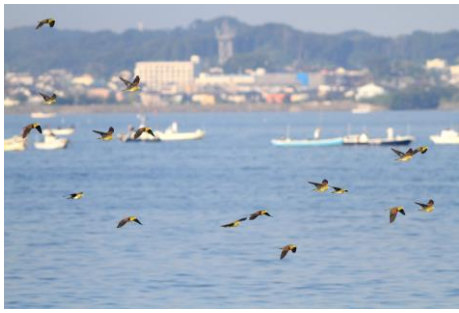
久潤 交情 笑語温かなり

啜茗吟詩を吟ず 酬唱の楽しみ

同心 蘭契 塵喧を絶つ

久潤 久しく便りが無かったり

酬唱 詩を作って互いにやり取りする



アオバト 澤木洋伸

會員漢詩五月

支韻 袴田哲郎

客中聞杜宇 就眠遲  
孤牀客舍 月照惟  
半夜鄉愁 鵲語急  
裂帛一聲 鶉語急  
青山千里 歸思促

孤牀客舍 眠りに就くのが

遅く 郷愁 月惟を照らす

半夜 鶉語急に

裂帛の一声 鶉語急に

青山 千里 歸思を促す

客中 聞杜宇 就眠遲



カルガモの親子 澤木洋伸

會員漢詩五月

東韻 後藤忍

雨聲適適 草堂中  
窓外泥淤 人通少  
机坐嗜書 纒半卷  
小齋日暮 一灯紅

雨聲適適 草堂の中

窓外 泥淤 人の通ること少し

机坐 書を嗜むも 纒に半卷

小齋 日暮れ 一灯紅なり



芍薬 (しゃくやく) 澤木洋伸

會員漢詩五月

元韻 花筏 B

偶成 花筏 B  
薰風簾影 坐南軒  
清昼無人 書可緝  
独誦詩篇 心氣爽  
吟魂又得 忘塵煩

薰風 簾影 南軒に坐す

清昼 人無く 書 緝く 可し

詩篇 独誦 誦ずれば心氣 爽かに

吟魂 又得 塵煩を 忘る



森林公園 ミヤマツツジ 澤木洋信

総会司会 (鈴木昇千) 過半数の出席により総会が成立しております。出席28欠席5  
開会の辞 鈴木修心 活発な意見を出し鷺長会が発展するため進めて頂きたい。  
会長挨拶 飯田報信 会員数を178名は昨年15名減 幼少年を含め188名  
吟界に限らず伝統芸能分野の構成員が減少している。現状回復が大変。  
総本部85周年大会にご協力頂きたい。

議長挨拶 議長 飯田報鷺、ご協力により、議事がスムーズに進むようお願いいたします。  
議事 事業報告 事務局長 森下報薫 承認される (白鷺実態調査表より)

81歳以上40名、71～80 87名、61～70 40名、と合計で88.8%と  
高齢化が進んでいる。若年層の入会を望む。

白さぎ大会の参加者減少、ポリトールコンクール参加をしてほしい。

決算報告 会計 中瀬涼泰 承認される

監査報告 監事 内山航南 適正であったことの報告あり

役員 岡村報洋先生逝去により削除、湖西支部新理事 金田修燁 (カナダシユウヨウ)

事業計画(案) 事務局長 森下報薫 中部地区コンクールは岡崎せきれいホール

9/23鷺長会秋季練成会 新居、6/10和支部吟の集い 鷺津

総本部85周年は100名の参加を要請されている。浜吟連大会は51回

予算計画(案) 会計 中瀬涼泰 原案通り可決される 可決 案を削除  
(参加費補助等科目間の流用を認めることで承認される。)

議長解任の挨拶 議長 飯田報鷺、ご協力によりスムーズに終わることが出来ました。

閉会の辞 鈴木修碩 ご審議お礼 閉会と致します。

報告事項 ○この総会終了後 吟士権予選を行う

○武道館合吟コンクール 参加者を募って参加の可否を判断する。参加者への補助は  
前回程度で考える。練習にも全員が出席でるようでないとう賞は出来ない

○浜吟連大会役員追加 保安2名 森谷虎真・武田修紳 (一成会休会の為)

勅使川原会長逝去の為 臨時総会で飯田報信が残任期間会長を務める。

○鷺長会創立55周年記念大会を H31年10月27日とする

場所はクワンパルスを候補とする。

○白さぎ、準優勝2名、入賞3名 合吟は4位 (ポリトール等の競吟に出て吟力の  
アップを図る。(コンクールに出ることは吟力アップ させる最も近道です)

○東明未来塾に参加して新しい指導者が出来るよう進めてゆく。

総本部 東明未来塾の開催予定、会場はこれから決める、

7/7・8/18・10/6 の3回実施予定 (全部出席できる人、指導者を目指す人)

11/23 吟詠普及事業東海地区研修会 (愛知・三重・静岡 合同で実施)

○ 総本部のHP リニューアル、 広報誌「吟と舞」も版を大きく ご活用ください。



天竜川 道の駅 澤木洋伸

165-4



長姫城 江戸彼岸桜 澤木洋伸

方広寺十聖境

十景の中第四 抱腹巖（ほうふくがん）

大石岩々として路に

臨めば羊腸石の北に、苔むす岩の肌波が

盛り上がり、恰も布袋のはらあての如し。

供え十方に應ず 飽き来るに 似たり

現身 今 乱雲の 堆きに在り

歴然と 般若 本 説くこと無し

用いず 天華の 落ちて 臺に満つ

第四 布袋様が腹を抱えているような岩、大きな岩が

けわしくそばだつ道をみれば、羊腸石の北に苔むした

岩の表面が盛り上がり布袋様の腹あてのようだ。

1 そなえ十方に応じて、満腹しているようだ

2 現世の人、今乱れ飛ぶ雲で堆（うずたか）くなった

（混沌とした）中にあり

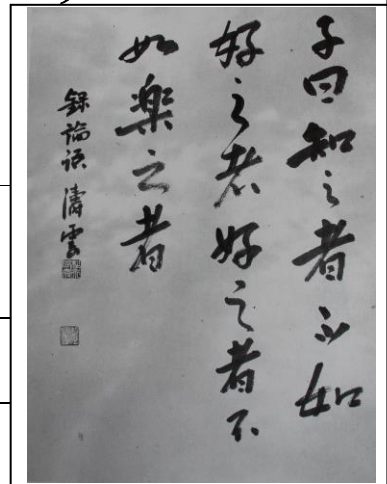
3 はつきりと 悟りを開く働きを行うの本は説き明かす

（晴晴れとする）ことが出来ない

4 何もしないのに、天から花がおちてきて、台の上に満ち

ている（布袋様のようにゆつたりした心がそうさせているのか）

他の解釈も考えてみてください



論語十二か月一9 右の書は巻頭言に引用されている 論語の言葉です。（雍也第六） 松永濤雲書

子曰わく、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず。

先師が言われた。「知る者は、好んでやる者には及ばない。好んでやる者は、楽しんでやる者に及ばない。（雍也第六）」

子貢曰く、孔文子は何を以て之を文と謂うや。子曰わく、敏にして学を好み、下問を恥じず、是を以て之を文と謂うなり。

子貢が尋ねた。「孔文子（衛の大夫）は何ゆえに諡（おくりな）を文というのでしょうか」先師が答えられた。「天性が明敏であって学問を好み、目下のものにもへりくだって尋ねることを恥じなかった。それで文と諡されたのだ」

子、子産を謂う。君子の道四（よつ）有り。其の己を行うや恭、其の上に事（つか）うるや敬、其の民を養うや恵、其の民を使うや義。（公治長第五）

先師が子産（鄭の名大夫）のことを評していわれた。為政者の守るべき道に四つある。第一は、自分の身の振る舞いを恭しくする。第二は、上に仕えては慎み敬うことである。第三は民を養うには慈しみ、かつ恵み深いことである。第四は、民を使うには道義にかなって公正であることである」

子曰わく、始め吾人に於けるや、其の言葉を聴きて其の行いを信ず。今吾人に於けるや、其の言葉を聴きて其の行いを観る。（公治長第五）

先師はまた言われた。私は今までは、人の言葉を聞いて、その人の行いを信じた。だが今は、その人の言葉を聞いても、其の行いを見てから信ずるようになった。

樊遲、知を問う。子曰わく、民の義を務め、鬼神を敬して之を遠ざく、知と謂うべし。

樊遲が知について尋ねた。先師が答えられた。「民として正しい道を履（ふ）み行い、神を敬うが遠ざけて頼らない。これを知というのだ」（雍也第六）

編集後記 白さぎ 吟の集い、鷺長会総会が終わってこれからは白鷺総会、総本部総会、と続き昇段試験、昇格試験、ポリアル吟詠会予選、浜吟連の大会、と一連の行事が続きます。更に今年は55周年の記念大会の準備も入って来ます。日常の練習の事でも良いので広報委員までお寄せ下さい。

（発行責任者） 公益社団法人関西吟詩文化協会 浜松鷺長会 会長飯田報信 事務局長 森下報薫 広報委員 沢木洋伸、鈴木修榮、飯田報映、金原修潜、小倉玲祥、水野 薫 165-5